

「公共工事コスト縮減に関する新行動指針」

【施策名：(1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し ④技術開発の推進】

## 専用船によるSGM軽量土工法の採用

工事名：大阪港夢洲トンネル沈埋部護岸復旧工事

概要：(従来)

工場生産の軽量盛土材の投入

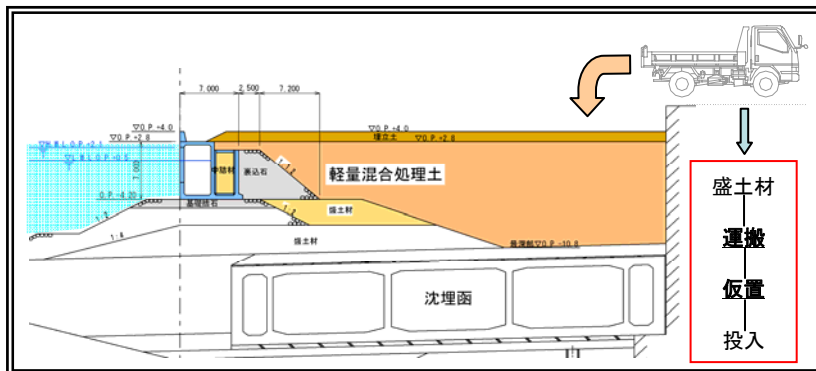
⇒

(新)

浚渫土砂を専用船で軽量混合処理し打設

- 効果
- 浚渫工事の発生土の有効利用。
  - 原材料の仮置ヤードが不要。
  - 良品質な軽量混合処理土(SGM:スーパージオマテリアル)の大量打設が可能となり工期短縮。  
(縮減額 約152百万円、縮減率 約13%)

従来工法

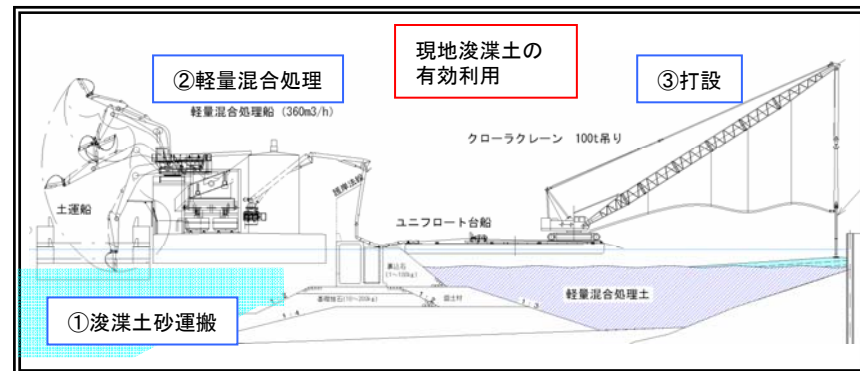


工場生産の軽量盛土材を使用

工場生産→運搬→仮置→投入

仮置ヤードがないため、別途用意をする必要があり、現場条件的に厳しい。

縮減工法



現地浚渫土を軽量混合処理土(SGM)にして使用

浚渫→運搬→練り混ぜ→打設

原泥を専用船によりSGM製造。  
即打設可能となり、施工効率も良好。